

平成 20 年 2 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 横川 紀夫  
( J A S D A Q コード番号 7918 )  
問い合わせ先

役職・氏名 常務取締役 正部一行  
電話番号 03-5155-6801

平成 20 年 3 月期 通期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当第 3 四半期における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成 19 年 11 月 22 日付当社「平成 20 年 3 月期 中間決算短信」にて発表いたしました平成 20 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想(A)	37,000	1,280	1,130	160	6 円 60 銭
今回修正(B)	35,500	400	310	865	35 円 66 銭
増減額 (B - A)	1,500	880	820	705	
増減率 (%)	4.1	68.8	72.6		
(ご参考)前期実績 平成 19 年 3 月期通期	33,135	1,146	1,046	216	9 円 06 銭

2. 修正の理由

当期においては、外食産業における経営環境の悪化が続く中、下期以降、(株)扇屋コーポレーションでは、新規出店を絞り込むと共に、グランドメニューの改定、ランチメニューの実験推進等の施策を実施し、売上の回復を図ってまいりました。また、(株)一丁、(株)フードリーム、(株)ぼちぼち、(株)紅とん等の各社においても、ランチメニューの実験、QSC(クオリティ・サービス・クリンリネス)の原点に戻っての店舗運営、顧客サービスの向上に努めてまいりました。

しかしながら、当初の見込みに対して、ロードサイド店の売上の減少、消費低迷による既存店の売上減

少傾向が続き、また、新規出店に伴う営業費用のさらなる増加等の影響もあり、中間期での落ち込みをカバーするに至らず、その結果、当初の計画との乖離が大きくなる見込みとなりました。

印刷流通事業についても、(株)日本システムのカードゲーム事業の販売期間の切り上げによる早期撤退に伴う計画との乖離、(株)ワールドプランニングでの営業力の弱体化に伴う受注の減少等により、当初の計画を達成するに至らない見込みとなりました。

その結果、通期の売上高は、前回予想を 1,500 百万円下回る 35,500 百万円(前年比 7.1%増)、営業利益は前回予想を 880 百万円下回る 400 百万円(前年比 65.1%減)、経常利益は 820 百万円下回る 310 百万円(前年比 70.4%減)、当期純利益は 705 百万円下回る 865 百万円となる見込みであります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上